

(8) 下水道事業会計決算の状況

ア 総括事項

平成28年度の下水道事業は、平成23年1月に策定した流山市流域関連公共下水道基本計画説明書(平成36年度まで)(以下「基本計画」という。)及び、江戸川左岸流域関連公共下水道事業計画及び手賀沼流域関連公共下水道事業計画に基づき、既成市街地の污水管整備及び雨水管整備、つくばエクスプレス関連区画整理事業に伴う污水管整備及び雨水管整備を実施した。

この結果、下水道普及率は2.26パーセント増加し、85.21パーセントとなった。

また、平成28年度は、平成28年度・29年度の継続事業として、財政計画と投資計画の整合性を図るべく平成29年度から平成38年度までの10年間を対象とした、流山市下水道事業経営戦略の策定を進めている。

一方、収入面において、営業外収益で、他会計負担金が減少となったものの、営業収益では、処理区域内人口及び処理面積の増加に伴い、下水道使用料が増加となったことから、収益全体では1.91パーセント(56,956,083円)の増加となった。

費用面においては、営業外費用及び特別損失で減少となったものの、営業費用の減価償却費及び流域下水道維持管理負担金等の増加により、費用全体では、0.97パーセント(28,286,989円)の増加となり、損益では93,454,529円の黒字となった。

資本的収入においては、他会計出資金が368,248,000円減額となったことから、水道事業会計から400,000,000円の長期借入れを行った。

イ 建設事業

既成市街地の污水整備の内、江戸川左岸流域関連公共下水

道整備事業については、東深井地区約13ヘクタール、向小金地区約2ヘクタールの整備を行い、手賀沼流域関連公共下水道整備事業については、駒木地区約7ヘクタールの整備を行い、水質汚濁防止及び住環境の向上を図った。また、雨水幹線の整備については、向小金雨水幹線整備事業のうち、東日本旅客鉄道株式会社常磐線の軌道下横断工事約40メートルを行い、向小金地域の浸水対策を図った(平成29年度への繰越事業)。

更に、つくばエクスプレス沿線整備事業に係る污水管整備として、新市街地地区約24ヘクタール、運動公園周辺地区約7ヘクタール、西平井・鱒ヶ崎地区約1ヘクタール、鱒ヶ崎・思井地区約2ヘクタール、木地区約5ヘクタールの整備を行い、水質汚濁防止及び住環境の向上を図った。雨水管整備として、新市街地地区約19ヘクタールの整備を行い、浸水対策を図った。

ウ 業務の状況

平成28年度末の排水区域人口は154,864人で、平成27年度に比べ7,830人増加し、下水道普及率は85.21パーセントとなった。

年間有収水量は14,052,387立方メートルとなり、平成27年度に比べ344,361立方メートルの増となった。

また、下水道使用料の不納欠損金処理は、217件、989,390円で、平成27年度に比べ348,597円の増となった。

エ 経理の状況

収益的収入は、3,185,434,552円で、平成27年度に比べ74,713,020円の増収となった。この主な要因は、人口増加と整備区域の拡充による下水道接続世帯の増加によるものである。

一方、収益的支出は、3,018,131,084円で、平成27年度に

比べ10,941,804円の増加となった。この主な要因は、下水道使用料の伸びに比例して流域下水道維持管理負担金が増加したものである。

この結果、平成28年度の損益は、税抜きによる収益的収入が3,034,285,163円、収益的支出が2,940,830,634円で、収入から支出を差し引くと93,454,529円の純利益を計上することができた。

資本的収入は、2,960,609,306円で、平成27年度に比べ1,120,800,629円の増収となった。その主な要因は、国庫補助金の増額及びこれに伴う企業債の借入額も前年度より多くなったこと。また、財源不足を補う水道事業会計からの長期借入金によるものである。この資本的収入のうち、負担金570,580,362円は、資本的支出の建設改良費に充てるための受益者負担金132,246,878円、つくばエクスプレス沿線整備事業費に充てるため、独立行政法人都市再生機構及び千葉県の各区画整理施行者並びに流山市との協定に基づき収入する工事負担金261,281,060円、近隣市との協定に基づき収入する共用管建設及び雨水幹線工事負担金並びに認可区域外の下水道接続に伴う受益者負担金相当額の開発者負担金177,052,424円である。

一方、資本的支出は、3,550,364,211円で、平成27年度に比べ1,316,514,856円の増額となった。その主な要因は、事業費の財源が増加したことに伴い、事業費を補正し整備区域を増やしたこと。また、会計制度の移行に伴う事業費の取扱い変更によるものである。

才 議会議決事項

議案 番号	件名	提出年月日	議決年月日
議案 第70号	平成28年度流山市下水道事業会計補 正予算(第1号)	H28.9.1	H28.10.4
議案 第73号	平成27年度流山市下水道事業会計決 算認定について	H28.9.1	H28.10.4
議案 第20号	平成29年度流山市下水道事業会計予 算	H29.2.16	H29.3.21

カ 職員に関する事項(再任用職員を除く)

職 種	平成29年3月31日 現在の職員数(人)	平成28年3月31日 現在の職員数(人)	増 減 (人)
事務職員	7	7	0
技術職員	10	12	△2
合 計	17	19	△2